

委員会だより

＜5月2日(日) 12名出席＞

1. 2004 年度の年間行事から

- ◆ 高野神父初ミサ、伊藤神学生歓迎パーティへのご協力御礼
- ◆ 要理学校・夏季学校：8月6～8日の日程で検討中。
- ◆ 卓球大会：昨年高齢化等で中止したが、本年も見合せる。
- ◆ 敬老会：”敬老のお祝い”として実施の方向で別途検討。
- ◆ 聖公会との下打合せ(5月9日第1回目): 片山司祭と5,6名の方が来られる。グルニエ神父様や参加可能者で対応。目的は「キリスト教一致」を目指した祈りと交流の集い。

2. 会計報告(4月度)

① 一般会計

- ◆ 収入…行事があり4月はミサ献金が増加(133,607)
- ◆ 支出…ご復活パーティ等行事費 50,000、「心のともしび」(部数月20冊に減)、盗難保険料前年継続(半年分 8,330)等。

② 建設会計、愛の献金： 特記事項なし。

3. 信徒総会時に提起された課題の検討と進捗状況

- ◆ 運営基準見直し：主査の東原さん中心に進んでいる。
- ◆ 建設会計関連：
 - ・本館二階屋根の一部が強風で損壊。修理が必要。
 - ・アンプの件も含めて、上記損壊修理の見積りが出た時点で「建設会計」をその在り方含め再検討。
- ◆ 「葬儀取扱規定」が整備された。(壮年会担当の「屋外班マニュアル」のうち、「会計」の項の取扱いの改定完了)

4. 各委員・グループよりの提言・連絡事項

① 典礼委員より

- ◆ 消耗品購入：月額3～4千円程度(消耗備品費)⇒了承
- ◆ 新規備品購入:2004年度分として計12.7万円程度(侍者服、香入れ、聖水器、オメガーレを新調)の購入を決定。

② 今年度バザー委員会メンバー

- ◆ 山本行事委員、下村委員長、福島副委員長、甲斐財務委員、花坂、小野、山本仁(壮)、鈴木、横塚(婦)とする。

③ 布教委員報告(資料別途参照)

- ◆ 一粒◆ 福音宣教委員会 ◆ 湘南短期キリスト教セミナー

④ 壮年会

- ◆ オルガン調律/修理など、小谷氏によって見積もり取り寄せ中。検討継続。

5. 川崎 JOC メンバーからの依頼(畑田さん、伊佐美さんが来訪)

「コミュニティーサロン」として人々が気楽に集まって語れる「場」に中和田教会を使わせてほしい。⇒結論は、中和田教会は場所、機材を提供、「コミュニティーサロン」運営責任は JOC。中和田教会からも協力できる人は協力。

6. グルニエ神父様のカナダ出張中の対応(5月13～28日)

- ◆ 16、23日のミサは高野神父。
- ◆ 不在中の代行は、マリオ・パラロ神父(片瀬教会主任)。

7. バザー関係

- ◆ バザー券の復活：バザー券の考え方も変えていく。
- ◆ テーマは昨年と同じく「地域との交わりと教会修繕」。

8. 今年度(第4回)『区民クリスマス』に関して

- ◆ 5月28日(金)に今年度第1回目の準備委員会を開催。
- ◆ 5月28日にグルニエ神父と竹内布教委員が出席し、「カトリック教会としてどう参画すべきか」他団体と意見交換。

9. その他

- ◆ ごミサの小冊子を有償にしては、との提案あり。

婦人会だより

＜5月16日(日) 37名出席＞

1. 始めの祈りに引続き、ご病気の方々のために「ロザリオ1連」と「病者のための祈り」を祈りました。

2. 委員会報告

3. バザー委員会報告(鈴木さん)

4. 規約検討プロジェクトチーム報告(阿部寿美恵さん)

5. お知らせ事項

- * 高野神父様初ミサとお祝い及び伊藤神学生歓迎パーティーに、食事お手伝いグループの方々始め皆様のお手伝い有り難うございました。尚経費のうち婦人会支出は4200円でした。
- * 6月の例会後、不用品交換会を行います。衣類などのご寄付をお願いします。(箱を集集室に置きます)

- * 冠婚葬祭時のお手伝い依頼の連絡網(屋内班用)を作成。婦人会(屋内班)として接待、案内等のお手伝いをして頂きます。現在お申し出頂いている方以外でも、協力頂ける方はお申し出下さい。

- * 新会員のご紹介⇒森脇彰子さん(A地区) Tel 811-9835

6. 話し合い

- * ミサ後のお掃除について ⇒ 現状のままでよい。

* バザー関係

- ◆ バザー委員会の「新しい趣向の売り場」に関する問いかけに、各種意見が出たが、売り場担当者確保への懸念も出された。
- ◆ 今年も自主作品を各自2点以上ご提出をお願いします。
- ◆ 委託販売をされる方は、お早めにお申し出ください。

7. その他

- * 婦人同志会バス遠足：6/30(水) 東京カテドラル(司教ミサ)、六義園、野間宏記念館等。参加者は掲示の表に記名下さい。
- * 佐藤初女史(森のイスキア主宰)講演と映画の上映会(横浜教区福祉委員会協賛)

- ◆ 7月19日(月・祝)13時30分から 神奈川公会堂
- ◆ <映画>『ガイアシンフォニー』<講演>『命のうつしかえ』
- ◆ チケット 1900円 ◆ 後日ポスターを掲示します。

【次回例会は6月20日(日) 聖堂清掃の用具および例会のお茶の準備当番はD地区】

壮年会だより

＜5月16日(日) 16名出席＞

1. 高野神父叙階祝賀、伊藤神学生歓迎のパーティ、サロンは滞りなく開催出来た。ありがとうございました。

2. 七浦さん、古田さんには教会玄関のスノコ新調でたいへんなお骨折りを頂いた。ありがとうございました。

3. 委員会報告(詳細略)

4. バザー関連

- ◆ 5/9に開催されたバザー準備委員会の報告(詳細略)
- ◆ 全体的な議論/意見：
 - ・参加者が少ない。事前準備含め参加者を増やしていく。
 - ・より”盛り上り”を高める為に、演出をよく考えていく。
 - ・抽選会はガラポン方式等、機材を援用することも検討。
- ◆ 壮年会としての新しい取組み：
 - ・古本、CD、ビデオ等の抛出を呼びかけ『青空市』を行う。
 - ・内容、規模、事前調査などよく策を練り推進。

5. 教会補修などの費用発生見込みについて(下村さん)

福島氏から今後見込まれる案件として、外壁塗装、瓦葺き替え、老朽化に伴う放送設備の入れ替え、電力使用量増加による分電盤増設、等多々ある旨紹介あり。実情を整理し、8/29開催予定の臨時信徒総会で具体的な数字で説明して、信徒各位の理解と協力をお願いする。(バザー券復活はこの一環)

6. 「区民クリスマス」に対する対応： 小教区としての対応に関する課題提起等関連な議論あり。これを踏まえ、竹内布教委員に5/28区民クリスマス準備委員会での対応一任。

7. 壮年会名簿、連絡網、予定表の改訂：

新メンバーを含む名簿、連絡網の改訂版を配布。加えて、壮年会「葬儀手伝い(屋外班)」連絡網の試案を配布し検討、個々のケース毎に弾力的運用が必要だが、公式にはこの案で進めることとした。サロン担当予定は途中から変えて混乱があったが、7月以降については、七浦さんのご提言に従い、「チーフ候補生」になって頂ける方の選任を目指し検討していく。

8. その他の報告/確認事項：

5/9開催の聖公会との打合せ内容の要旨報告(竹内さん)オルガン調律・修理の見積り手配、準備進行中(小谷さん)「ごミサ小冊子の有償化」の議論は次回例会へ



広報 なかわだ

6月の予定

第302号

委員会 6月 6日
三位一体の主日 6月 6日
壮年会、婦人会 6月 20日
サロン 6月 13, 27日
レジオ 6月 11, 18, 25日



2004年 6月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

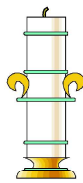
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成16年6月6日



「教区宣教司牧評議会」って、どういうこと!?

主任司祭 ジャック・グルニエ



今月、箱根町強羅にある白百合女子大学セミナーハウスを借りて、教区レベルの最も重要な集まりが行われます。それは11年前から年に一度開かれてきた『宣教司牧評議会』というのです。「評議会」は、梅村司教、ならびに16地区から集ってきた64人の代表で成り立っています。

「宣教」、また「司牧」という単語は、教会にとって、信者自身のすべての動き、祈り、精神、関心、活動を示す言い方ですね。「宣教」とは、わたしたちが参画する社会と歩むことだといえましょう。そして「司牧」とは、キリストに結ばれた集団・集会としてわたしたちが活かしていくさまざまなやり方、役割のことです。

さて、主イエスはこう言われました。「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」(ヨハネ20・21)。主が指摘するように、わたしたちは、先ず多くの人々をつながりを持ったうえで、その視点から教会の内面的な司牧におけることを全部見れば素晴らしいと思われます。なぜならば、教会は、たとえどこにいても、全ての人々に関わろうとしているキリストご自身の「体」なのです。

今回の評議会には、32人の信徒、16人の修道者、そして16人の司祭が教区の全地域から送られます。皆が、以上言った立場を確認した上で、今年のテーマを取り扱います。すなわち、その課題は「共同宣教司牧に向け、地区福音宣教委員会の新たな位置づけ」というのです。まだ、まだピンと来ないかもしれませんが、でも何とか分かるようにしませんか。神奈川第5地区として存在する中和田教会も、多くの仲間と手をつなぎながら、自分なりの発想をもって未来を築いていきます。今後、代表からの発表を楽しみにしたいと思います。

お知らせ

転入 ようこそ中和田教会へ

テレビア 島田恭子様
クララ 杉山雅子様
アブラハム 村上好重様
マリア ふみ絵様

のご一家です。

住所：泉区和泉町 4310-1 島田様方



ミサ当番表 (2004年6、7月)

月/日	主 日	朗読・奉納	共同祈願	侍 者	オルガン
6/6	三位一体の主日	七浦・楠田	竹内	下迫(瑠)	岩 渕
6/13	キリストの聖体	青年会	青年会	美底(か)石井(麻)	森 田
6/20	年間第十二主日	橋・太田	岩崎	永田・下迫(佳)	保 科
6/27	年間第十三主日	花坂・下村	花坂	石井(大)	岩 渕
7/4	年間第十四主日	福島・石井	福島	石井(拓)石井(榮)	森 田
7/11	年間第十五主日	青年会	青年会	石崎	保 科
7/18	年間第十六主日	古田・北川	鈴木(郷)	下迫(瑠)	岩
7/25	年間第十七主日	美底・森田	美底	美底(か)石井(麻)	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。

迷い込んだ絵の道

松田 ノリコ



昨年の朝日新聞社賞に続き、今年もクサカベ賞で受賞の喜びを味わうことができましたこと、感謝のうちに素直に嬉しく思っております。と同時に、身の引き締まる思いも致しております。

ところで、今回の『記念日』は、私の心の中の一齣を描いてみよう、情景や情感を着物の柄にする方法で表現できないものだろうかとあれこれ思い巡らし、構図を考えてみました。しかし、想いだけが先走ってしまった感も否めません。いつか自分の思いの丈を絵に表現できるようになればいいなと夢見ております。

この『記念日』は、見てくださる方が何かで自分の想い出と重ね合わせられたら、その方の記念日として見ていただければよいとも思っております。

今回幸いにも素晴らしい絵の具をいただきました。それは取りも直さず、未熟な私にもっと描いて精進しなさいね、との励ましの賞と受けとめております。会の先生方、先輩の方々、お仲間の皆様を支えられての受賞なのです。ありがとうございました。



上記の文は、今年2月「受賞者の声」として、会報に載ったものです。

絵を描くようになった理由はいくつかありますが、きっかけは、ある年の夏、県の社会人向けの講座が開かれたことにあります。最初は、美しいものがそこにあるから、美しい風景が目前にあるからと、それらを切り取るような絵を描き、先生が組んでくださったモチーフを画学生にでもなったような気分で描いていたのを記憶しています。

ある時M先生との出会いがあり、その教室に通ううちに、絵に対する考え方が次第に変わっていったように思います。色彩の分析、構図の分析、黄金分割……、絵に数学も必要なのだと、また、右脳をONにして脳の右側で描け、なんて言われたりもします。水彩、パステル、アクリル、テンペラ、油彩等々、それにメジウム等も次々新しいものが開発され、入りこんでしまうと何とも奥深いものであり、スタートはあってもゴールが見えません。多分ゴールはなくて、行く先を変えない限り延々と続く道なのです。

ここに載せていただいた絵は100Sなのですが、木枠を組むのにも、1階と2階間の上げ下げにも、家族の協力なしには不可能ですし、さらに、貴重な時間を割いてご高覧いただき、励ましてくださる皆様があつてこそ続けられるのだと感謝いたしております。

一握りのプロの画家は別として、一主婦として趣味で描いている作家は数限りなくおられます。私などはさしずめ画材屋さん孝行をしているだけのようですが、主人が関わっております防災指導協会や救命講習が行なわれる施設に数点展示させていただいたり、市当局の斡旋で希望があつた七ヶ所の特別養護老人ホームに「関内アートスクール」から作品を展示させていただくことになり、私の拙い絵も下川井にある「さくら苑」に展示されているようです。何の取り得もない私ですが、絵を通して、人生の先輩である方々の心を和ませるボランティアができれば幸いなことと思っております。

最後に皆様にお勧めをいたします。以前テンペラの勉強のために玉川大学の「教育博物館」を訪れたことがあります。テンペラで描かれたイコンが数多く展示されておりました。一度訪れて、イコンをご覧になれるのもよいのではないのでしょうか。



薔薇の聖母 ロシア・イコン 17世紀



「聖公会の皆さん、こんにちは。中和田教会へようこそ」

布教委員： 竹内 広治

平成16年5月9日（日）の午後2時、泉区領家にある「日本聖公会横浜クリストファー教会」の、片山牧師はじめ男性二名、女性三名の信者の方々が当教会をお訪ね下さいました。

この集まりは、かねてから、グルニエ神父と片山牧師の間で話を進めておられたもので、バチカン第2公会議以降推進されている、エキュメニズム（教会一致運動）の一環として、小教区での＜キリスト教一致を目指した祈りと交流の集い＞開催をめざし、その準備と相互理解を深めるため、第一回が今日のお招きとなりました。

中和田側メンバーとは言えば、グルニエ神父はじめ教会委員、婦人会有志の皆さん10名程が出席いたしました。懇談会は、お土産にいただいたお菓子をつまみながら、「先ずお茶など一杯如何でしょう」で始まりました。お互い初対面、自己紹介も型どおりでいささか畏まり気味でしたが、次第に打ち解けあい、互いに「知りたい・聞きたい」ことばかりです。それに宗派は違ってもキリスト教信者同士、尋ねるポイントやレベルも殆ど同格で、話し易さが和やかな雰囲気を生みました。祈祷書・典礼書・聖歌集、はたまた、ご持参の写真などを囲む談笑の間に、時おり洩らされることは信者数の伸び悩み、聖職志願者の減少など、私たちが同じ悩みを抱えておられることを知りました。

集まりも佳境に入ると時間の経過はアツという間です。両師が語らい推し進めている来年の「キリスト教者祈祷集会」の成功を目指して、本日の肩のこらない懇談会は終了しました。

次回は、7月11日（日）午後2時クリストファー教会で行うことを、約束して解散いたしました。本日はご苦勞様でした、クリストファー教会の方も、またどうぞお訪ねください。

